



たもんじ 交流農園

2019年7月号 便り Vol.16

「たもんじ交流農園便り」は、農園であったいろんなこと、これから予定しているイベントや講演会、農園仲間の人となり等、たもんじ交流農園に関する様々な情報を、会員の皆様にお伝えする情報誌です。

 たもんじ交流農園事業は、平成31年度すみだの夢応援助成事業に決定致しました。



第2回イベント「寺島なすの剪定と追肥」開催!!

6月16日(日)「江戸東京野菜・寺島なすを皆で栽培しよう!」イベント(全3回)の第2回「寺島なすの剪定と追肥」が開催されました。第1回に引き続き沢山の方々のご参加、有難うございました。

寺島なすは、親指と人差し指を開いたくらいで収穫した方がよい、追肥は2~3週間毎に、葉っぱが黄色くなる原因の一つはダニ、ダニは虫ではない、足が8本あり蜘蛛、なので殺虫剤は利かない、手で潰すのが一番、ただの水でも油でも、虫を退治するには有効だが登録はしていないので無登録農薬、牛乳を薄めてかけるというものもあるが、あれも本来やってはいけない、自分で食べる分にはよい、変な法律、天然由来と書いてあるものは登録はしてあるので、使ってもよい、が最低でも200倍以上でかつ植物の表面温度が40度を超えない朝か夕方方の気温の低いときにやること、体力ない時はやらないこと、人間に害がないといっても、それは神経系のことであって体力が落ちている場合は肝臓腎臓がやられることがある、あと長袖を着ること…等々水口アドバイザーのお話しは目からウロコの連続です。



講演の後は、てらたま畑で追肥の練習をし、それぞれの畑でその成果を試しました。第3回は8月4日(日)(7月14日から変更)、いよいよ収穫です!!(末林記)

※水口アドバイザー来園日は、7/14(日)・8/4(日)・9/8(日)の予定で、いずれも10時~4時です。

新・農園のお隣さんご紹介

① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかけたい等

区画 7-1-②

花田恵美代さん



① 昨年夏前から、たもんじ交流農園耕作チームに加わり基礎からいろいろ教えていただきました。中でも印象深いのは虫との闘い。虫を見つけると、ごめんね、ごめんね、なんまんだぶ、なんまんだぶと言いながらの殺生。虫も気分よく生きてるだけなのに、自分はもう地獄の三丁目あたりまで落ちただろうかと思いつつ、それでも出来たての野菜のおいしさの虜となり、今年はソロデビューと相成りました。

② 当面は、畑でのソロデビューを知った友だちがくれた、ツタンカーメンのお墓から出土したというエンドウ豆(収穫済み)とおいしいトマト、それと、梅干し用の赤シソを育てています。

③ 有機栽培にも様々な方法があるので、昔から行われてきた農法なども含め、お話を伺う機会があると嬉しいです。

④ 農園の各畑は、それぞれ個性があって、それを眺めたり、時には話をしたり、ゆったりのおんびりできる場として、とてもありがたいです。





- ① ボーイスカウト墨田第9団で指導員をしています。私と息子、それに墨田第9団ボーイスカウト、ビバースカウト、カブスカウトのみんなで耕作していきたいと思っています。
- ② 江戸野菜や根菜。引っこ抜く喜びを教えてあげたいから。
- ③ 無農薬の農薬づくり
- ④ 以前からボーイスカウトの活動をする中で、食育、特に野菜嫌いを克服していける活動があればと思っています。たもんじ交流農園は、ピザ釜も借りられるし、楽しく作って食べることが良い活動に繋がるとしています。



うちの畑じまん 第9回 佐藤八郎さん



昨年10月からお世話になっている佐藤と申します。三重県のアカツカグループという団体が提唱している水素系の特殊な水を使ったFFC農法という自然農法の素晴らしさを知り、是非自分で体験してみたいと思い、たもんじ交流農園に参加致しました。

昨年は、11月下旬に土壌改質剤FFCエースと肥料として培養土を撒き、小松菜、ホウレン草、葉大根等の種を播いてみました。すると今年の春、野菜は食べ頃に成長し、皆さんにお分けして喜んで頂きました。

今は、寺島なす、ジャガイモ、ピーマン、枝豆、ホウレン草、葉大根等を植えてあります。他の畑と比べて成長が遅いように感じますが、培養土だけなので、肥料が足りないのかもしれませんが、でも培養土だけで、消毒など一切せず、自然のまま、どう成長するか、どこまで成長するかを実験したいと思っています。私は今年84才になりますが、何十年と薬を飲んだことがありません。自分の免疫力を信じ、病気をせず今日まで生きてまいりました。同じ生命体である野菜も、農薬など使わずとも健康な野菜が育つと信じています。FFCエースは、土壌改質されるまで3年位かかると言われるので3年後が楽しみです。

ある植物園の社長のお話で「植物を育てることは本当に難しい。きれいな花を“咲かせてやろう”と思って肥料や水をやって何度も失敗した。そうではなく、きれいな花を咲かせるのを“お手伝いしましょう”という謙虚な気持ちで接すると植物は育ってくれる」と聞きました。私も野菜が立派に成長するのを“お手伝いしましょう”という謙虚な気持ちで、これから野菜を育ててみたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



てらたま協議会より

「ウッドデッキ作りワークショップ」(来年3月までまだまだ続く予定)

8/4(日)・8/18(日) 9~12時で木柵づくり編の予定。

農園会員様募集! 遂に 残り ハーフ (約5.5㎡) 1区画!!

対象: たもんじ交流農園を創設し、江戸野菜を復活させるという当協議会の理念に賛同頂ける方他、耕作期間: ~2020年3月、農園会費: 2,500円/月、応募方法: ①お名前、②ご住所、③電話番号、④メルアド、⑤自己PRを teratama.machidukuri@gmail.com 迄メール下さい。



たもんじ交流農園便り
No.16-般 2019.7.15 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之

てらたま協議会 (NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
<https://www.facebook.com/teratama/>
問い合わせ先 小川 剛 (080-3421-3115)

▲ セブン-イレブン記念財団

